

目 次

各章の要旨	・・・・・・・・	1
序 章 米介入時代の終焉と新たな均衡の模索	立山 良司	7
第1部 中東・アフリカ地域情勢		
第1章 バイデン政権初年の米・中東関係	小野沢 透	17
第2章 2021年イラン大統領選挙とライースイー政権の成立	貫井 万里	35
第3章 大国政治の中のイラク ——米中露関係と域内外交の展開	吉岡 明子	47
第4章 サウジアラビアの外交と安全保障を巡る課題 ——イエメン介入の背景と問われる米国依存	中西 俊裕	61
第5章 イスラエル／パレスチナの動向	立山 良司	71
第6章 重層的力学の下での「アフリカの角」地域の変動	遠藤 貢	83
第7章 グローバル・ブリテンの中東政策とその課題	赤川 尚平	95
第2部 中国と中東・アフリカ		
第8章 「中国の特色ある大国外交」と中東	八塚 正晃	103
第9章 GCC諸国の経済開発と対中国経済関係 ——『一带一路』への参画とその展望	齋藤 純	113
第10章 コロナ禍におけるトルコ・中国関係 ——ウイグル問題を中心に	柿崎 正樹	127
第11章 エジプトを巡る国際環境の変化に対するスイススイー 政権の対応——ロシア・中国との関係を中心に	鈴木 恵美	137
第12章 深まる中国・アフリカ関係 ——FOCAC8と農業協力を中心に	井堂 有子	147

